

# 将来を見越した「骨太」な企業経営のため、今こそ「正社員雇用」を！

## 1. 非正規雇用の現状

### ①非正規労働者の割合【岐阜・全国】

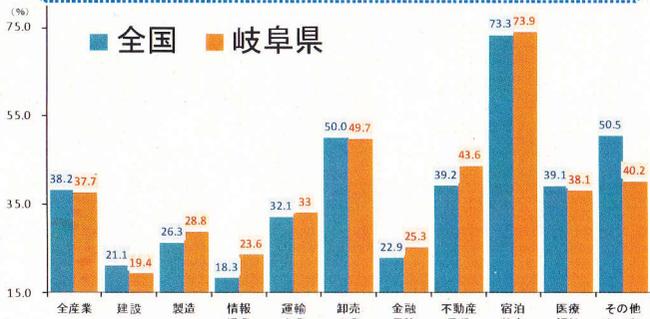
非正規雇用労働者の割合は全国平均を下回るものの、4割弱が非正規雇用労働者となっています。

	非正規割合	うち男性	うち女性	うち若年者
全国	38.2%	22.1%	57.5%	35.3%
岐阜	37.7%	20.4%	57.5%	30.1%

\* 資料：総務省「H24年就業構造基本調査」

### ②産業別の非正規労働者の割合【岐阜・全国】

「宿泊・飲食」「卸売・小売」「不動産、物品賃貸業」で非正規労働者の割合が高い。



\* 資料：総務省「H24年就業構造基本調査」

### ③不本意で非正規雇用されている者の割合【全国】

雇用形態別では、派遣社員、契約社員で高く、年齢別では、25歳～34歳までの若年者で高い。

全体	19.2%	全体	19.2%
パート	12.2%	15～24歳	17.8%
アルバイト	19.0%	25～34歳	30.3%
派遣社員	42.6%	35～44歳	19.6%
契約社員	35.2%	45～54歳	18.5%
嘱託	18.8%	55～64歳	16.6%
その他	16.9%	65歳以上	10.2%

\* 総務省「労働力調査(詳細集計)(H25年平均)」

## 2. 正社員・非正規間のミスマッチの存在

### ④正社員を希望する求職者の割合【岐阜】(H26年度)

正社員を希望する求職者は、6割程度。

職業計	62.6%	保安の職業	70.0%
管理的職業	82.8%	農林漁業の職業	64.4%
専門・技術的職業	67.6%	生産工程の職業	79.0%
事務的職業	60.6%	輸送・機械運転の職業	81.9%
販売の職業	69.5%	建設・採掘の職業	88.4%
サービスの職業	55.1%	運搬・清掃等の職業	49.4%

\* 岐阜労働局「職業安定業務統計」

### ⑤正社員求人との割合【岐阜】(H26年度)

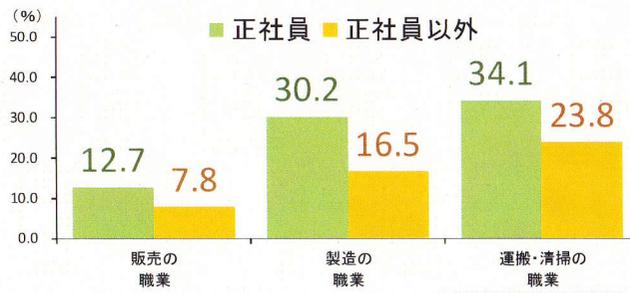
正社員求人は、4割とミスマッチが生じている。

産業計	40.7%	建設	86.9%
製造	46.0%	情報通信	53.3%
運輸・郵便	59.3%	卸売・小売	35.1%
宿泊・飲食	24.8%	生活関連・娯楽	32.8%
医療・福祉	41.4%	その他のサービス	21.9%

\* 岐阜労働局「職業安定業務統計」

### ⑥正社員求人・非正規求人別の充足状況【岐阜】(H26年度)

正社員求人は、非正規求人よりも充足率が高い。



\* 岐阜労働局「職業安定業務統計」

## 3. 今こそ「正社員雇用」を！

### ⑦正社員雇用のメリット

☆優秀な人材の確保がしやすくなります。

☆従業員の定着やモチベーションの向上が期待できます。

☆計画的な人材育成が可能となり、技術・技能が確実に継承されます。

これらにより・・・

中・長期的な経営戦略が立てやすくなり、生産性やサービスの向上が期待できます。

さらに、採用コスト・教育コストを大きく削減できます。



## 4. 正社員雇用・転換のための助成金の活用

### ⑧試用雇用奨励金(トライアル雇用)

技能・知識、経験等のある程度見極めたうえで正社員として採用するかを判断したい事業主の皆様へ3か月間の試行的に雇用することにより、適性・業務遂行能力の可能性を見極めたうえで、常用雇用とするかを判断できる制度で試行的雇用期間の賃金の一部を事業主に対して助成します。

一人あたり月4万円

最大3か月間12万円

◆詳しくは管轄のハローワークまで

### ⑨キャリアアップ助成金

雇用している非正規社員を正社員に転換したい事業主の皆様へ

◎正規雇用転換コース

正規雇用へ転換する制度を規定し、実際に非正規雇用から正規雇用へ転換した場合に助成。

有期雇用→正規雇用

1人40万円 1年度上限数15人

無期雇用→正規雇用

1人20万円 1年度上限数15人

(※上表は中小企業の場合。平成28年3月31日までは1人あたり10万円上乗せ)

◎多様な正社員コース

多様な正社員制度を規定し、短時間正社員等多様な正社員に転換または直接雇用した場合に助成。

非正規→短時間正社員 1人20万円 1年度上限数10人

(※上表は中小企業の場合。平成28年3月31日までは1人あたり10万円上乗せ)

◆詳しくは管轄のハローワークまで

